

サイクロンスティック クリーナー IC-S55E

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称	4
使用前の準備	4

取り扱いかた

使いかた	5
収納のしかた	6
ごみの捨てかた	7
お手入れのしかた	8

こんなときには

故障かな?と思ったら	10
仕様	11
保証とアフターサービス	11
保証書	裏表紙

保証書付

(裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意

使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

 禁止	● 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない ● 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない ショート・感電・故障の原因になります。
	● 絶対に分解・修理・改造はしない 発火・けが・異常動作の原因になります。
	● めれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない 発火・ショート・感電の原因になります。
	● 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない ● 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	● 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない 火災の原因になります。
 必ず実施	● 異常・故障時にはすぐに使用を中止する ・スイッチを「ON」にしても運転しない ・運転中ときどき止まる ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする ・本体が変形したり、異常に熱い ・こげくさい「におい」がする ・運転中に異常な音がする 発煙・発火・感電のおそれがあります。すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールへ点検、修理を依頼してください。
	● 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う 火災・感電の原因になります。
	● 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る 湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
	● 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差込む 発火・ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

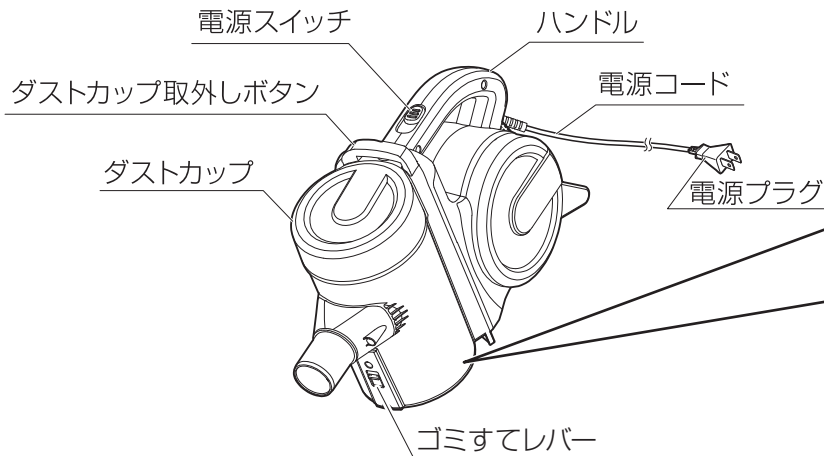
 禁止	● 火気に近づけない 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	● 吸込口をふさいで長時間運転しない ● 排気口をふさがない 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	● 破れたり、破損したフィルターは使わない 故障・性能低下の原因になります。
	● 本体にはのらない。子どもには遊ばせない けがや本体破損の原因になります。
	● 運転中にダストカップ取外しボタンを押さない けがや本体破損・故障の原因になります。
 必ず実施	● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。
	● 持ち上げるときは、必ず本体ハンドルをもつ 本体が落下して、けがや床に傷がつく原因になります。

使用上のお願い

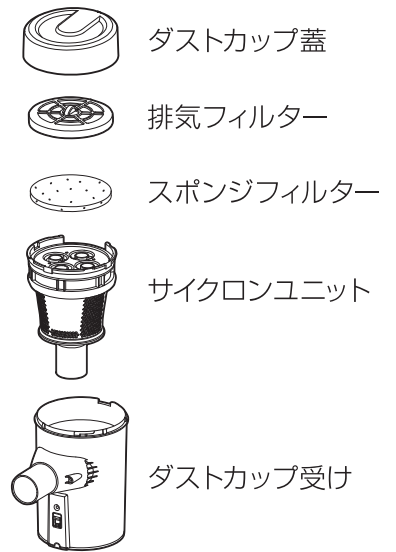
- この掃除機は室内用です。屋外では絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
 液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズル・小型ブラシを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。また、本体や延長パイプを無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。本体を落としたり、ダストカップが脱落したりして、けが・破損・故障の原因になります。
- 本体及びハンドルは、使用中、モーターの発熱により温かくなりますが異常ではありません。
- ダストカップ内のごみは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。

各部の名称

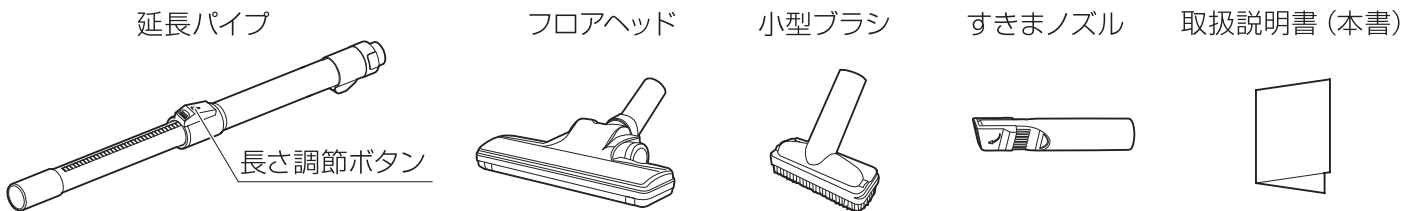
■本体



ダストカップ構成部品



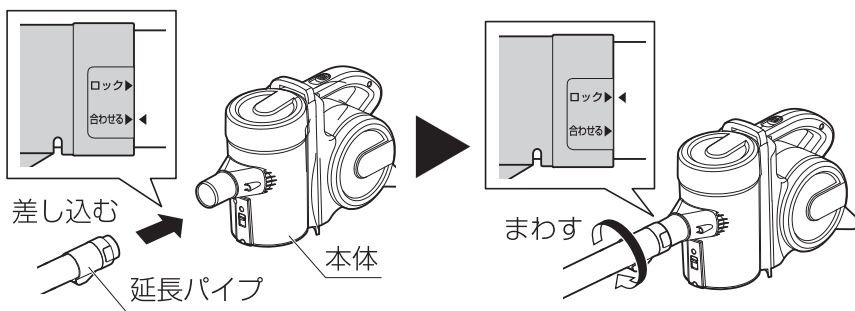
■付属品



使用前の準備

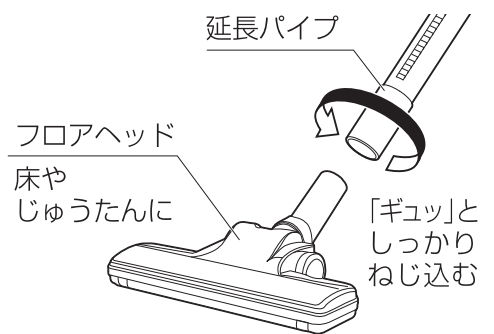
1 本体に延長パイプを取り付ける

- ①延長パイプの「合わせる▶」と本体の「◀」を合わせて、差し込みます。
- ②延長パイプの「ロック▶」と本体の「◀」の位置が合うまでまわします。

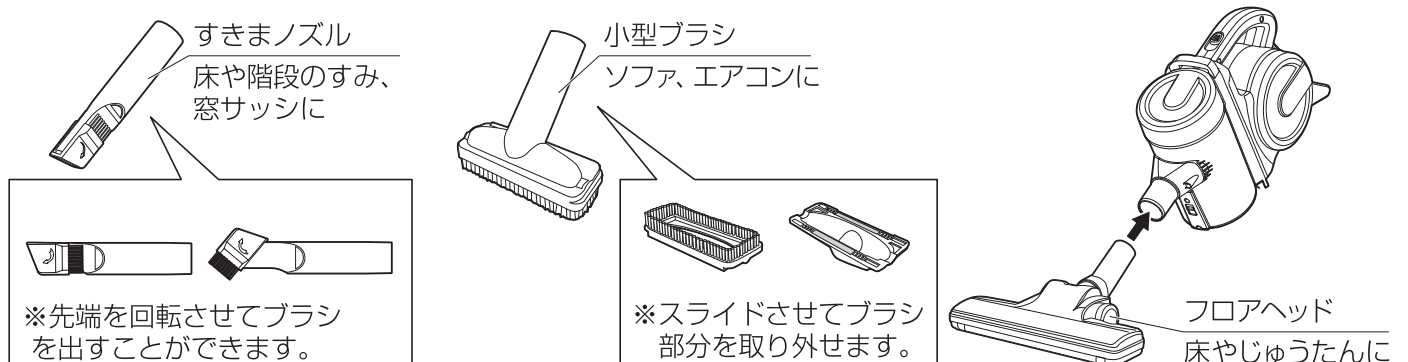


2 フロアヘッドを取り付ける

フロアヘッドを延長パイプに取り付けます。



本体に直接フロアヘッドやすきまノズル、小型ブラシを取り付けてハンディとしてもお使いいただけます。



使いかた

■基本の使いかた

⚠ 注意

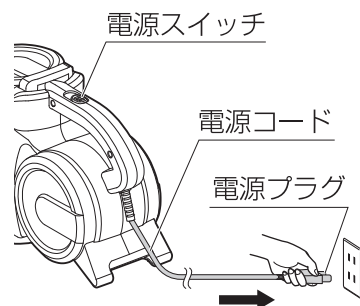
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸込力の低下や詰まりの原因になります。
- フィルターやパイプが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが過熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。

1 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。

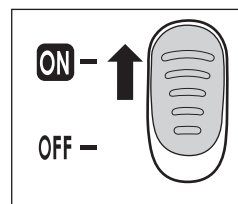
⚠ 注意

- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから差し込んでください。



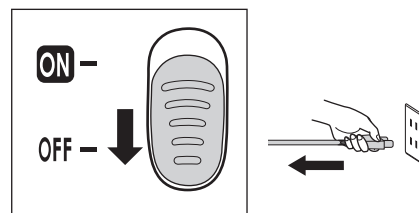
2 電源を入れる(運転開始)

電源スイッチをスライドさせて電源を入れます。



3 電源を切る

電源スイッチをスライドさせて電源を切ります。
その後、電源プラグをコンセントから抜きます。



⚠ 注意

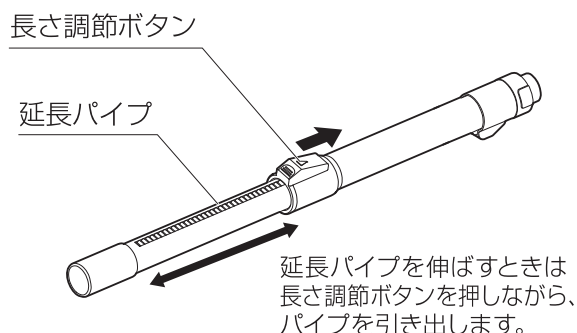
- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- 使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。

■延長パイプの使い方

※運転中吸い込み口をふさいだ状態で長さ調節ボタンを押さないでください。
延長パイプが急に縮み、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 延長パイプを調節するときは、安定した場所で行なってください。無理な体勢や、不安定な状態で行なうとけがや機器破損の原因になります。



収納のしかた

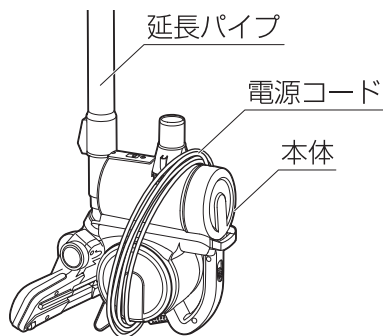


注意

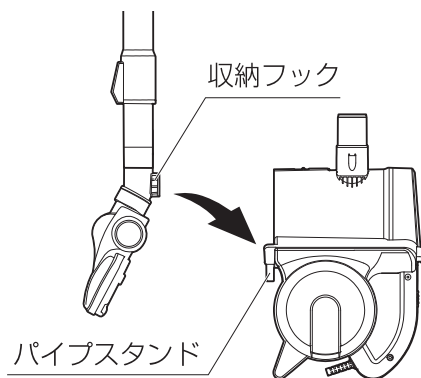
- 使用が終わったら電源コードは、必ず片付けてください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとけがの原因になります。
- 収納状態のままで持ち運ばないでください。
パイプやフロアヘッドが落下し、床面を傷付けたり、けがをするおそれがあります。

1 本体から延長パイプを取り外し、本体を立てます。

電源コードを本体に巻付けることができます。

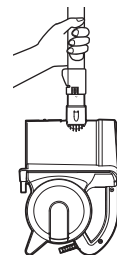


2 フロアヘッド側の収納フックを、パイプスタンドに差し込みます。



注意

パイプを持って持ち運ばないでください。
本体が落下し、破損・けがをするおそれがあります。

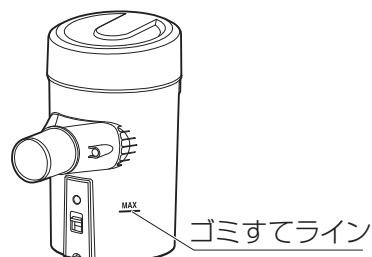


ごみの捨てかた

■ダストカップからごみを捨てる

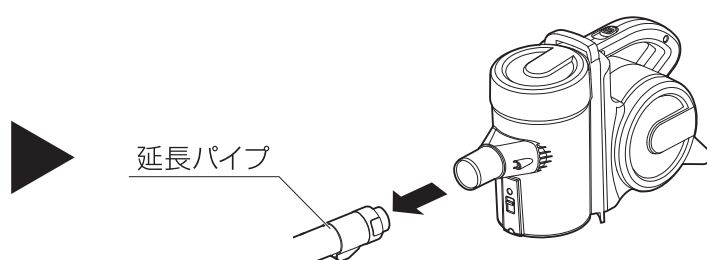
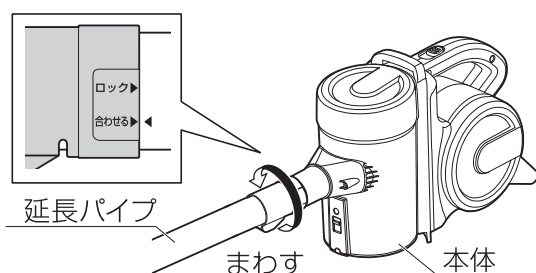
⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上にごみをためないでください。吸引力が低下します。
- ごみはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからごみを捨てる際には、必ず電源を「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体運転中にダストカップを取り外さないでください。



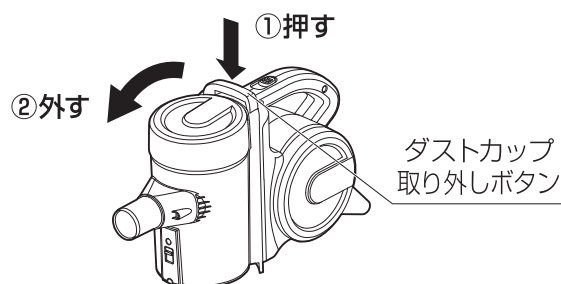
1 延長パイプを本体から取り外す

- ▶ 延長パイプの「合わせる ▶」を本体の「◀」の位置と合わせるまでまわし、延長パイプを取り外す。



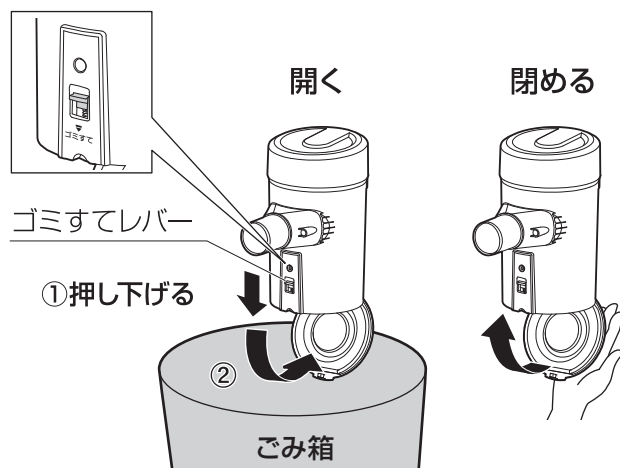
2 ダストカップを取り外す

ダストカップ取り外しボタンを押しながらダストカップを本体から取り外します。
ボタンを押さずに無理に取り外さないでください。



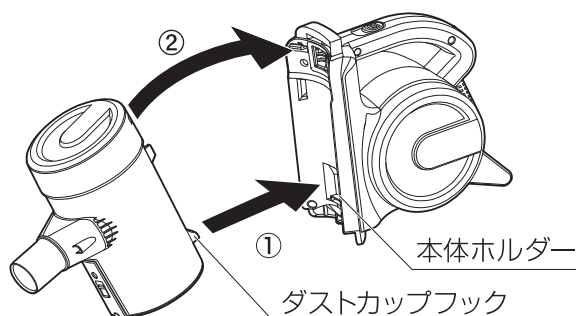
3 ごみを捨てる

吸い込み口下部分のゴミすてレバーを下方向に押し下げます。
底ぶたが開き、ごみを落とすことができます。
最後に手で底ぶたをしっかりと閉めてください。



4 ダストカップを本体に取り付ける

ダストカップフックを本体ホルダーに引っかけ、カチッと音がするまで押し込みます。



お手入れのしかた



警告

●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

●ダストカップやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

特に、「排気フィルター」と「スポンジフィルター」は、最低1ヶ月に一度は表と裏のみぞにあるほこりや汚れをきれいに落としてください。

※1ヶ月は目安です。ごみの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



排気フィルター



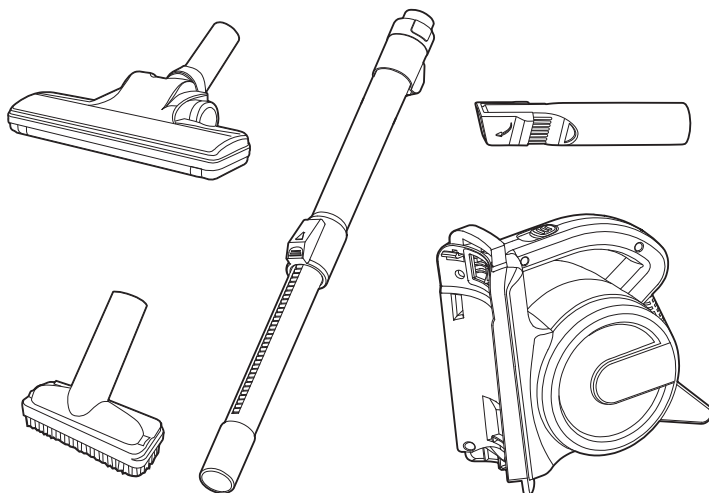
スポンジフィルター

■本体、付属品のお手入れ

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れを拭き取ってください。

汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。

※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。

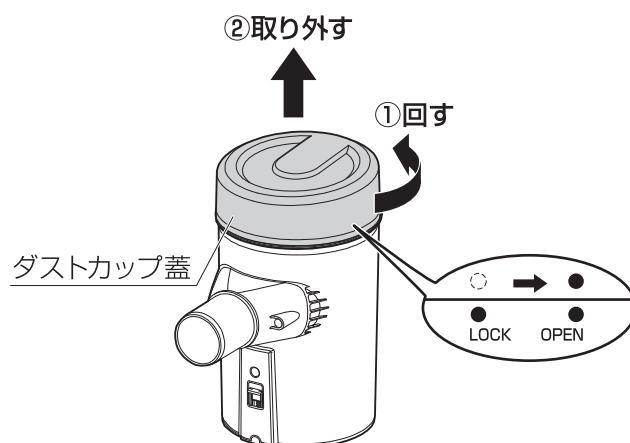


■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す (P7参照)

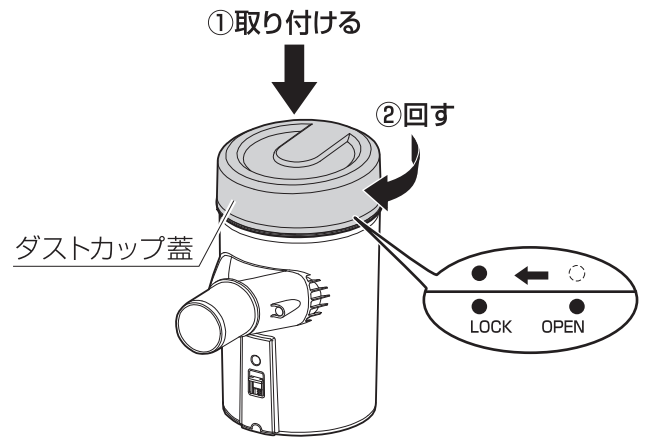
2 ダストカップ蓋を取り外す

ダストカップ蓋の「●」が「●OPEN」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り外します。



<ダストカップ蓋を取り付ける場合>

ダストカップ蓋の「●」を「●OPEN」の位置に合わせ取り付け、「●」が「●LOCK」の位置にくるまで矢印の方向に回し取り付けます。

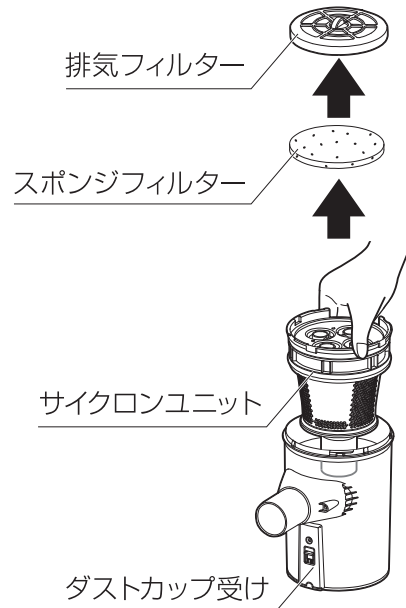


3 フィルター類を取り外す

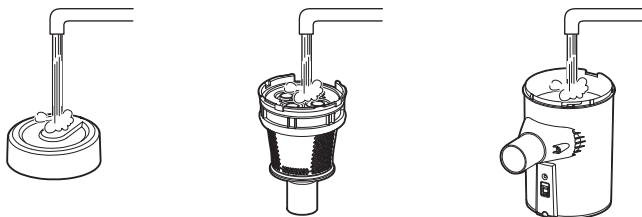
4 サイクロンユニットを取り外す

5 ごみを取り除く

各部品を軽くたたきながら、ごみを落とします。

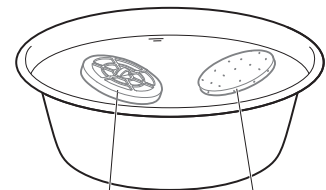


6 水洗いをする



ダストカップ蓋 サイクロンユニット ダストカップ受け

流水で汚れを落としてください。

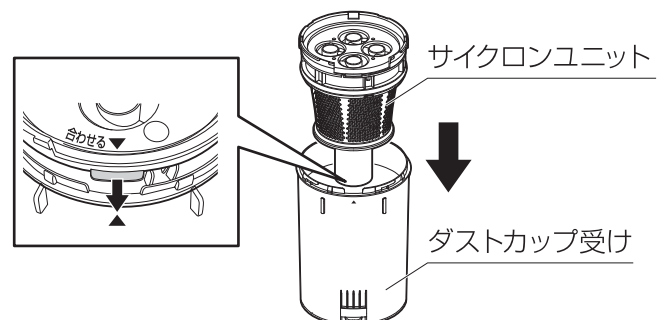


排気フィルター スポンジフィルター

水を入れた容器にフィルターを浸け、ゆすいで汚れを落としてください。

7 本体に取り付ける

十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。
※サイクロンユニット側の「▼」とダストカップ受け側の「▲」を図のように合わせて取り付けてください。



注意

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続し、電源スイッチを再度入れる	P5参照
	●フィルター類にごみやほこりがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	P10参照
吸引力が弱い	●フロアヘッド、延長パイプ、ノズルが詰まっている ●ダストカップの「ゴミすてライン」以上にごみがある ●フィルター類にごみやほこりがたまっている ●ダストカップが本体ときちんと吻合していない	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●ダストカップのごみを捨てる ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、ふたの状態を確認する	P7、8、9参照
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●吸込口やノズルに大きなごみが詰まっている	●詰まっているごみを取り除く	
本体やハンドルが温まる	●モーターの発熱により温かくなりますが、異常ではありません		

保護装置について

フィルターや延長パイプが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置の仕方>

1. 本体の電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ダストカップのごみを捨て、フィルター類をお手入れする。(取扱説明書P7～P9参照)
3. フロアヘッド、延長パイプなどが詰まっていないか確認する。
4. 涼しい場所におく。

約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

- ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	質 量	約2.4kg (フロアヘッド、延長パイプ含む)
消 費 電 力	550W	外形寸法	幅251×奥行207×高さ928mm (フロアヘッド、延長パイプ含む)
吸込仕事率	60W		
集 塵 容 積	0.35L	コード長	4.8m

セット内容 掃除機本体 フロアヘッド(1個) すきまノズル(1個) 小型ブラシ(1個) 延長パイプ(1本)
排気フィルター／スポンジフィルター(本体セット済み1個) 取扱説明書(本書)

※この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や周波数の異なる外国ではご使用になれません。

またアフターサービスも対象外となります。FOR USE IN JAPAN ONLY.

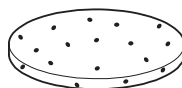
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■ 消耗部品について

排気フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、当社アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただきます場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書(裏表紙)に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

サイクロンスティッククリーナー IC-S55E

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（フィルターなど）を除く	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください